

設立40周年記念

銀の城

公益社団法人

広島市シルバー人材センター

設立40周年記念

銀の城



「銀の城」 … 「銀」とは広島市シルバー人材センターに集結する多くの人々であり、「城」とはその人々の拠り所です。広島城を指呼の間にし、白く輝く4層の本部ビルは正にその象徴です。

公益社団法人
広島市シルバー人材センター

目次

Contents

● ごあいさつ	
理事長	1
● 40周年を祝して	
広島市長	2
広島市議会議長	3
広島県知事	4
広島労働局長	5
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会長	6
● 40年のあゆみ	
設立の経緯	7
写真で見る各種事業活動	8
数字で見る事業実績	
年度別事業実績	22
男女別登録会員数の推移	24
年齢別会員数の推移	25
年表で見る40年のあゆみ	26
文字で綴る関係者の声	
役員の声	34
職業分類リーダーの声	36
地域世話人の声	38
会員の声	40
発注者の声	44
前理事長の声	47
● 広島市シルバー人材センターの活性化	48
● 資料編	
広島市シルバー人材センター役員名簿	50
広島市シルバー人材センター理事会専門部会	52
広島市シルバー人材センター組織図・事務局組織図	54
広島市シルバー人材センター案内図	56
事務局及び職員の紹介	57
● あとがき	61



設立40周年を迎えて ～おかげさまで40周年～

公益社団法人広島市シルバー人材センター

理事長 建部 賢次

公益社団法人広島市シルバー人材センターは、昭和56年6月に会員230名でスタートして以来、おかげさまで本年度で設立40周年の節目を迎えることができました。

顧みますと、これまで、バブル崩壊やリーマンショックなど「経済情勢の変化」、継続雇用制度の定着など「就業環境の変化」、東日本大震災など大規模な「自然災害による影響」といった様々な困難を経験し、また現在では、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態に直面していますが、こうした困難にも適切に対応しながら、令和3年3月末の時点で、会員数3,807名を擁し、契約金額も約15億円に上る大きなセンターへと成長を遂げることができました。

これもひとえに、様々な場面において、多方面から支えていただいた国、広島県、広島市をはじめとする関係機関の御指導と御支援、市民の皆様や民間企業など地域社会各層のシルバー事業への御理解と御協力、会員の皆様の積極的な事業への参画、そして、歴代理事長をはじめ、役職員一同の事業を支える地道な努力があったからこそと、心より厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の今、先行きの見通しは決して楽観できるものではありませんが、これまでの40年で培ってきた経験を活かすためにも、待ちの姿勢ではなく、攻めの姿勢を継続し、今後も会員の拡大に努めるとともに、「同世代を支える事業」「次世代を支える事業」「地域社会を支える事業」「地域経済を支える事業」などの幅広い分野で、会員の皆様の活躍の場を提供できるよう努めてまいります。

また、令和4年度からの次期中期計画である「第五次基本計画」の策定にあたり、「他団体との連携」や「地域貢献の取組」の拡大・強化について検討しており、私どもも基本理念や目的を同じくする他団体との連携を模索し、これからの広島市シルバー人材センターの担うべき役割、そして、進むべき方向も見極めてまいりたいと考えています。

改めまして、今後ますます高齢化が進展し、70歳までの就業機会の確保が求められるなど、継続雇用が一層定着していく社会情勢の中で、様々な変化にも対応可能な柔軟で活力のあるシルバー人材センターとして成長するため、皆様からの変わらぬ御支援、御協力をいただき、「会員の皆様が、会員であることを誇りに思えるセンター」を目指して、これからも努力を重ねてまいります。

最後に、記念誌の発刊にあたり、御寄稿をいただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。設立40周年の挨拶といたします。



40周年をお祝いして

広島市長 松井 一 實

公益社団法人広島市シルバー人材センターが、この度、設立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

広島市シルバー人材センターは、昭和56年に設立されて以来、一貫して高齢者への就業の場の提供に取り組むとともに、本市の「子どもの見守り活動」への参加や独自事業である「自転車再生事業」の取組などの公益に資する活動を通じて、高齢者の生活の充実と地域社会の活性化に大きく貢献しておられます。役職員並びに会員の皆様の長年にわたるたゆまぬ努力と意欲的な取組に対し、深く敬意を表します。

さて、我が国では、少子高齢化の進行で働き手の中心となる世代の人口が減少し、労働力の不足が今後ますます大きな課題になってくると予想されます。人生100年時代を迎える中、働く意欲のある高齢者が、個々の事情に応じて生涯現役で活躍し続けられるような雇用・就業環境を整えていくことが求められています。

本市におきましても、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるための取組の一環として、経験豊富な高齢者が、まちのにぎわいづくりや高齢者の見守り、子供の居場所づくりなど、地域課題に取り組める環境づくりを推進しているところです。

こうした中、地域における高齢者の多様なニーズに応じた就業機会を提供するシルバー人材センターの役割はますます重要になっており、貴センターでは、近年「空き家管理サービス」や「夏休みこども勉強室」など、地域社会や地域経済のニーズを踏まえた事業にも積極的に取り組まれているほか、いわゆるアクティブシニアや女性を意識した入会促進に注力され、長年減少傾向であった会員数が平成30年度から増加に転じるという大きな成果を上げられています。

今後も、貴センターの更なる飛躍に向けて、引き続き、地域社会の活性化につなげる役割を担っていただきながら、これまでの取組に加え、高齢者により多様な働き方を提供するための新たな事業展開にも意欲的に取り組んでいただくことを期待しています。

終わりに、公益社団法人広島市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と皆様の御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

広島市議会議長 佐々木 壽吉

公益社団法人広島市シルバー人材センターが、この度、設立40周年という節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターは、昭和56年6月の設立以来、長年にわたり、高齢者の生きがいづくりと地域社会の発展に尽力してこられました。これまで同センターの活動を支えてこられた職員並びに会員の皆様に対しまして深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、御承知のとおり、我が国は世界に類を見ない急速な高齢化社会の到来を迎えています。今や総人口の29.1パーセント、およそ3.4人に1人が65歳以上の高齢者と、高齢者人口の割合は世界で最も高くなっており、今後、少子化の進行と相まって、生産年齢人口が減少し、社会経済活動を支える労働力の不足が深刻さを増してくることが懸念されます。

こうした中、持続可能な地域共生社会の実現に向けては、高齢者の方々に、地域社会を支える担い手として、いきいきと輝き、豊富な知識や経験、熟練した技能をいかし、活躍していただくことが大切です。そうした意味において、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、意欲や能力等に応じた様々な活躍の場を高齢者の方々に提供するとともに、活力ある地域づくりに取り組んでおられる貴センターの役割は、今後ますます重要になってくるものと考えています。

市議会といたしましても、高齢者の方々が、多様な形で社会に参画し、そこで生活する皆様が、互いに尊重し合い、助け合いながら、健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。貴センターにおかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制約があるとは思いますが、引き続き、創意工夫を凝らしながら、熱意をもって事業を推進され、高齢者福祉の向上と地域社会の活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人広島市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と、皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

広島県知事 湯崎 英彦

公益社団法人広島市シルバー人材センターの設立40周年を心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、これまで地域社会や地域経済のニーズを踏まえながら、介護補助など同世代を支える事業をはじめ、育児支援・学童保育など次世代を支える事業、人手不足企業への派遣などに積極的に取り組まれ、高齢者の就業を通じた社会参加の推進及び地域社会の活性化に多大な貢献をしてこられました。

ここに、会員の皆様をはじめ、関係の皆様これまでの御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、人生100年時代の到来と、生き方・働き方の多様化を前提とした社会保障制度の変革が進み、高齢者の就業ニーズの一層の増加が見込まれる中、社会・人生経験が豊富な高齢者が社会の一員として活躍する環境づくりが求められており、高齢者のニーズに合った多様な就業機会を提供していく必要があります。

こうした中、臨時的・短期的又は軽易な就業やボランティア等の社会参加を希望する高齢者にとって、地域社会に根ざしたシルバー人材センターは非常に重要な役割を果たしており、今後とも積極的な事業推進が期待されているところです。

貴センターにおかれましては、高齢者が健康で、意欲と能力のある限り年齢に関わりなく働き続けることができる「生涯現役社会」の実現や、高齢者が生きがいを持って就業や地域活動ができる環境づくりを進めるため、更なる御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人広島市シルバー人材センターのますますの御発展と、関係の皆様より一層の御活躍、御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



設立40周年の 記念誌発行を祝して

広島労働局長 阿部 充

公益社団法人広島市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられ、その記念事業として記念誌を発行されたことに、心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和56年6月30日に社団法人広島市シルバー人材センターとして設立されて以来、堅実な事業運営により着実に事業を発展・拡充されてこられ、本年、設立40周年を迎えられました。

この間、貴センターでは、独自の工夫による「自転車再生事業」の取り組みを実施され、平成4年には「リサイクル推進功労者表彰」、「優良シルバー人材センター」としての労働大臣表彰を受賞されています。

また、平成29年度から「シルバー活性化検討会議」を設置され、会員拡大、就業開拓の推進などを重点的に取り組んでおられます。

こうした先駆的な事業展開により、会員の皆様のニーズに応じた多方面の就業機会の開拓に努められ、顕著な実績を上げてこられました。

このことは、ひとえに、会員の皆様を始めとして関係者の方々の熱意とご努力の賜物にほかならないと、心から敬意を表する次第でございます。

さて、我が国においては、総人口が減少する中で高齢者の就業率は上昇しておりますが、世界最高水準の高齢化が今後も継続する状況を考えますと、高齢者の活躍の場の拡大に向けた動きが社会全体に広がっていくことが期待されるところです。

シルバー人材センター事業は、定年退職後等の高齢者に、そのライフスタイルに合わせた臨時的かつ短期的な就業機会を確保し、併せて高齢者の健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上、活性化を図っており、その存在意義はますます高まってきております。

貴センターにおかれましても、会員の皆様への積極的な就業機会の提供と就業を通じての地域社会への貢献に、更にご尽力いただきたいと存じます。

広島労働局としましては、この事業の一層の発展・充実に向けた施策を、引き続き公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会と緊密な連携を図りながら、取り組んで参りたいと考えております。

終わりに、貴センターの益々の御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



設立40周年を祝して

公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会

会長 金子 順一

公益社団法人広島市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和56年の設立以来、40年の長きにわたり、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、地域の高齢者の方々が長年培ってきた豊富な知識や経験、技能を生かした就業機会の提供や、ボランティア活動、地域社会活動への積極的な参加を推進することにより、生きがいの充実と地域社会の福祉の向上に大きく貢献されておられることに対し、深く敬意を表します。

人口減少、少子高齢化が進行する我が国においては、高齢化率が既に28.4%に達しており、令和7年に30%、令和47年には40%に近づくことが見込まれています。政府は、令和元年12月、「全世代型社会保障検討会議中間報告」を公表し、急速に進む少子高齢化の下、元気で意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持つ高齢者が働く環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性を指摘しており、シルバー人材センター事業の重要性と、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした地域社会の期待に応えるためには会員拡大が重要であることから、平成30年3月、令和6年度までを計画期間とする「第2次会員100万人達成計画」を策定し、貴センターをはじめ、全国のシルバー人材センター事業関係者が一丸となって会員拡大に取り組んでいただいているところです。現在、新型コロナウイルス感染症拡大という厳しい状況下にはありますが、引き続き、シルバー人材センターが、地域の高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、地域社会の支え手を実践できるよう、お力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、今後の貴センターのより一層のご発展と関係者各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

設立の経緯

公益社団法人広島市シルバー人材センター設立の経緯

広島市高齢者能力活用協会の設立

21世紀における超高齢社会の到来を展望し、従来の高齢者福祉対策のみでなく、健康で働く意欲のある高齢者に対する施策の必要に迫られ、広島市においても活力ある高齢化社会を形成するために昭和52年から広島県、広島商工会議所等と協議がなされてきました。

同年12月に広島県・広島市・広島商工会議所が共催して市内183の事業所を抽出し、高齢者の就業に関するアンケート調査を行い、約半数の90事業所から高齢者向きの仕事があるとの回答を得ました。

一方、昭和53年6月に老人クラブ連合会等の協力を得て、広島市内に居住する60歳以上の高齢者約38,000人を対象に働くことによる社会参加の希望の有無についてアンケート調査を行った結果、3,477人から何らかの就業をしたいとの回答がありました。

これらの調査結果を踏まえ、広島市は高齢者対策の一環として高齢者に就業機会を提供し、健康な高齢者が自らの経験と能力を役立たせながら、何らかの就業を通じて生きがい高め、あわせて活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とした高齢者の自主的な団体である「広島市高齢者能力活用協会」を昭和54年3月に設立しました。

社団法人広島市シルバー人材センターの設立

その後、昭和54年4月に国が「高齢者能力活用事業実施要領」を定めたのにあわせて、全国各地にシルバー人材センターが設立されていきました。

広島市においても広島市高齢者能力活用協会を更に強化し、一層の充実を図っていくことが必要になってきました。

そのため同協会を改組し法人化する準備を進め、昭和56年6月「設立発起人会」を開催し、設立総会への準備を急ぎました。

昭和56年6月22日、諸般の準備が終わったので、設立総会を開催し、昭和56年6月30日に県知事の許可を受けて広島県下では呉市に続き2番目のシルバー人材センターとして昭和56年7月1日に事業を開始しました。

当初の会員数は230名、役員は理事20名・監事2名で事業を開始しました。

公益社団法人広島市シルバー人材センターへ

平成20年12月1日、公益法人の在り方を抜本的に見直すための公益法人制度改革関連3法（一般社団・財団法人法、公益法人認定法、関連法案整備法）が施行され、5年の猶予期間で一般社団法人か公益社団法人になるか選択することになりました。

当センターは、平成23年3月22日に県知事の認定を受け、同年4月1日に登記し、公益社団法人広島市シルバー人材センターとなりました。

写真で見る 各種事業活動

Each Business Activities by Photographs

総会等

—— 自主・自立、共働・共助の名のもとに



令和3年度 通常総会（設立40周年）



設立総会（昭和56年）



設立10周年記念式典（平成3年）



設立20周年記念式典（平成23年）



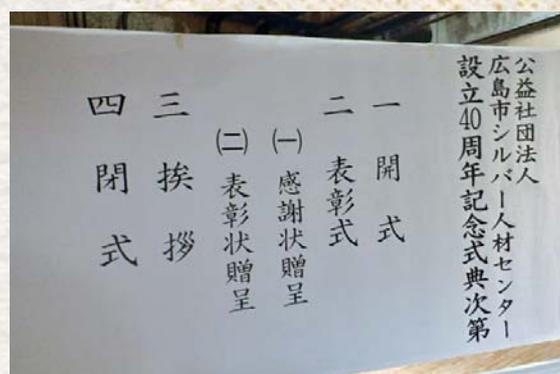
設立30周年記念式典（平成33年）

40周年記念式典



令和3年6月18日（金）に西区民文化センターホールにおいて、広島市シルバー人材センター40周年記念式典を開催しました。

令和2年度から全世界で流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方々が集まる賑やかなアトラクションなどは実施できませんでしたが、令和3年度通常総会に先立ち、永年にわたりセンターに貢献された方々の表彰を行いました。



40年のあゆみ

写真で見る 各種事業活動

Each Business Activities by Photographs

農林漁業 建設・採掘

長年培われた技術と経験の融合



植木剪定（令和2年）



植木剪定（平成13年）



障子・ふすま張り（平成30年）



保育園遊具塗装（令和2年）

サービス（管理）

細かく行き届いた管理運営



西部自転車等保管所管理（令和3年）



駐輪場管理（平成30年）



駐車場管理（平成30年）



通信病院平和資料室管理（令和3年）



交通ランド管理（令和3年）

40年のあゆみ

写真で見る 各種事業活動

Each Business Activities by Photographs

運搬・清掃・包装等

地域社会への貢献



花見清掃（昭和62年）



広島城堀川の藻撤去（平成29年）



植物公園 花壇植替え（平成23年）



平和記念公園 花壇植替え完成（平成23年）



平和記念公園清掃（令和3年）



太田川河岸清掃（令和3年）



マツダスタジアム清掃（平成22年）



マンション清掃（令和3年）



被服支廠除草等（平成30年）



広島城清掃（平成22年）



屋内作業（平成23年）

サービス（支援）

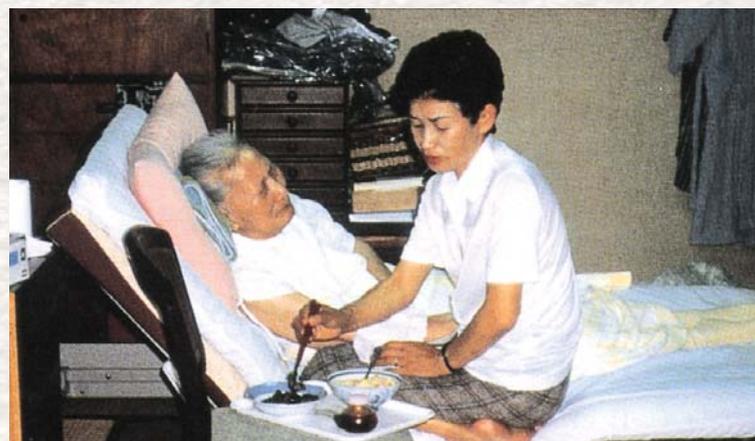
利用者の気持ちに寄り添ったお世話を



通院介助（令和3年）



放課後児童クラブ支援（令和3年）



高齢者介護（平成2年）



家事援助（令和3年）



その他の職業分類

細かく行き届いた丁寧な作業



賞状筆耕 (平成23年)



街区表示板取付 (平成6年)



レセプト番号整理 (平成11年)



ソーイング
(平成30年)



ソーイング班 高齢者作品展に出品 (平成28年)

独自事業

センターが自ら創業し、サービスを提供



ギター教室（令和3年）



書道教室（令和3年）



ハーダンガー刺繍教室（令和3年）



水引教室（平成23年）



パソコン教室（平成23年）



自転車再生事業（平成22年）



正月の花づくり教室（平成23年）



再生自転車販売会（平成22年）



リサイクルショップ（平成23年）

研修会

能力の向上と新たな就業分野へのチャレンジを支援



襖・障子張り研修（平成2年）



刈払機研修（平成29年）



自動車運転講習（令和元年）



介護研修（平成29年）



ベビーシッター研修（令和2年）



おそうじ研修（令和3年）



植木スクール（令和2年）



筆耕研修（令和2年）



区別会員研修（平成24年）



市民講座「料理講習」（令和元年）



市民講座「健康講習」（令和元年）

普及啓発活動

センター活動の魅力を広く発信



「シルバーの日」ボランティア清掃（令和元年）



街頭普及宣伝（平成6年）



南区民まつり（平成10年）



シルバーフェア（平成24年）



佐伯区民まつり（平成23年）



東区女性会まつり（平成28年）

会員互助会の活動

会員同志の親睦と福利厚生



耕三寺バス旅行（平成19年）



趣味の作品展（平成20年）



シルバー山の会 日浦山登山（平成26年）



新年懇話会（平成29年）

会員互助会は、昭和58年に発足し、研修活動、親睦・交流活動、農園育成事業、広報活動などを実施してきましたが、人的・財政的課題から平成30年度末で解散しました。

シルバー活性化検討会議で解散後の対応を検討した結果、平成31年度に会員部会を設置してその機能を受け継ぎ、センター事業として取り組んでいます。（P48に関連記事）



会員部会 農園育成事業（令和2年）

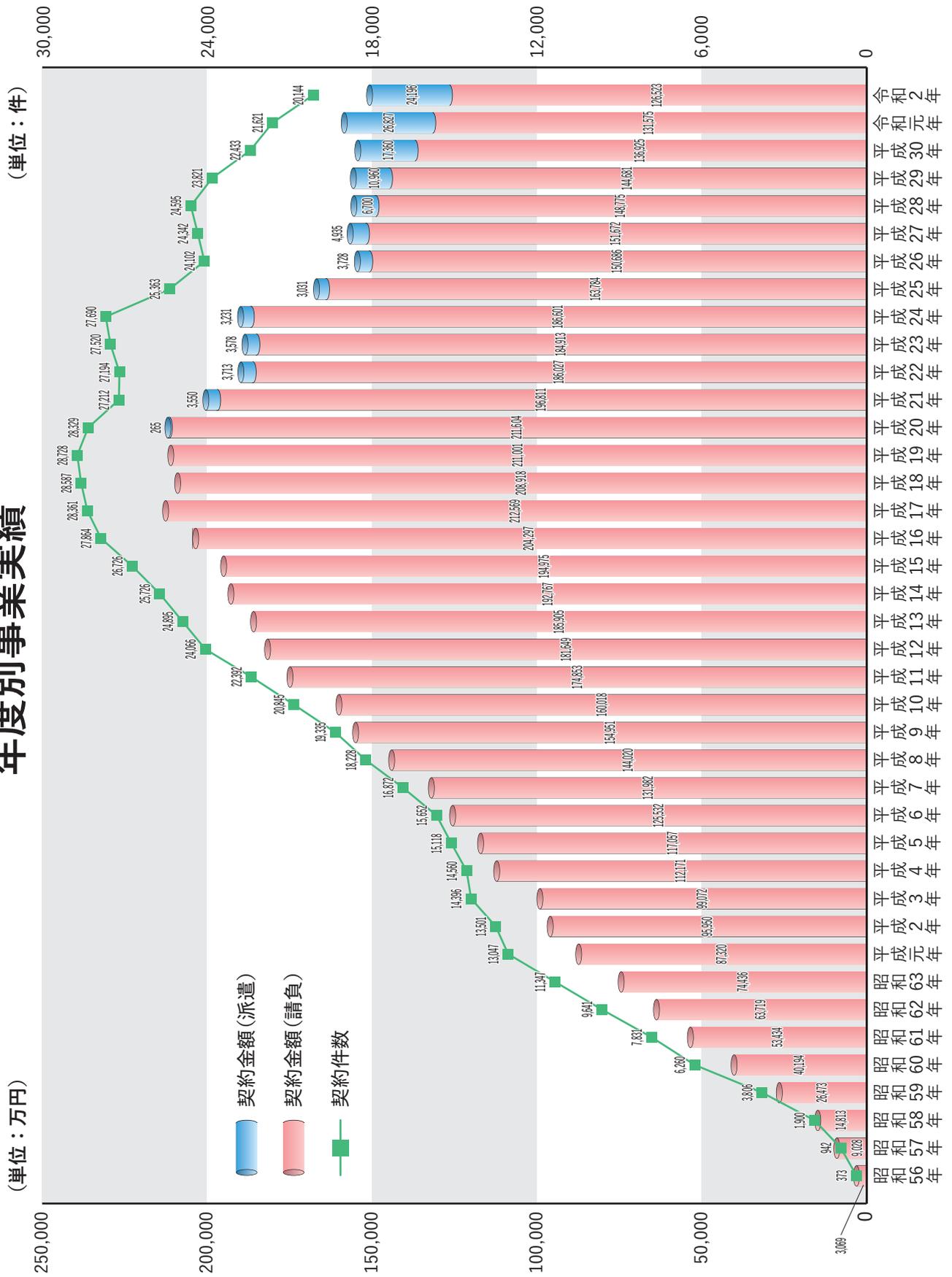
数字で見る 事業実績

Business Performance with Numbers

年度別事業実績

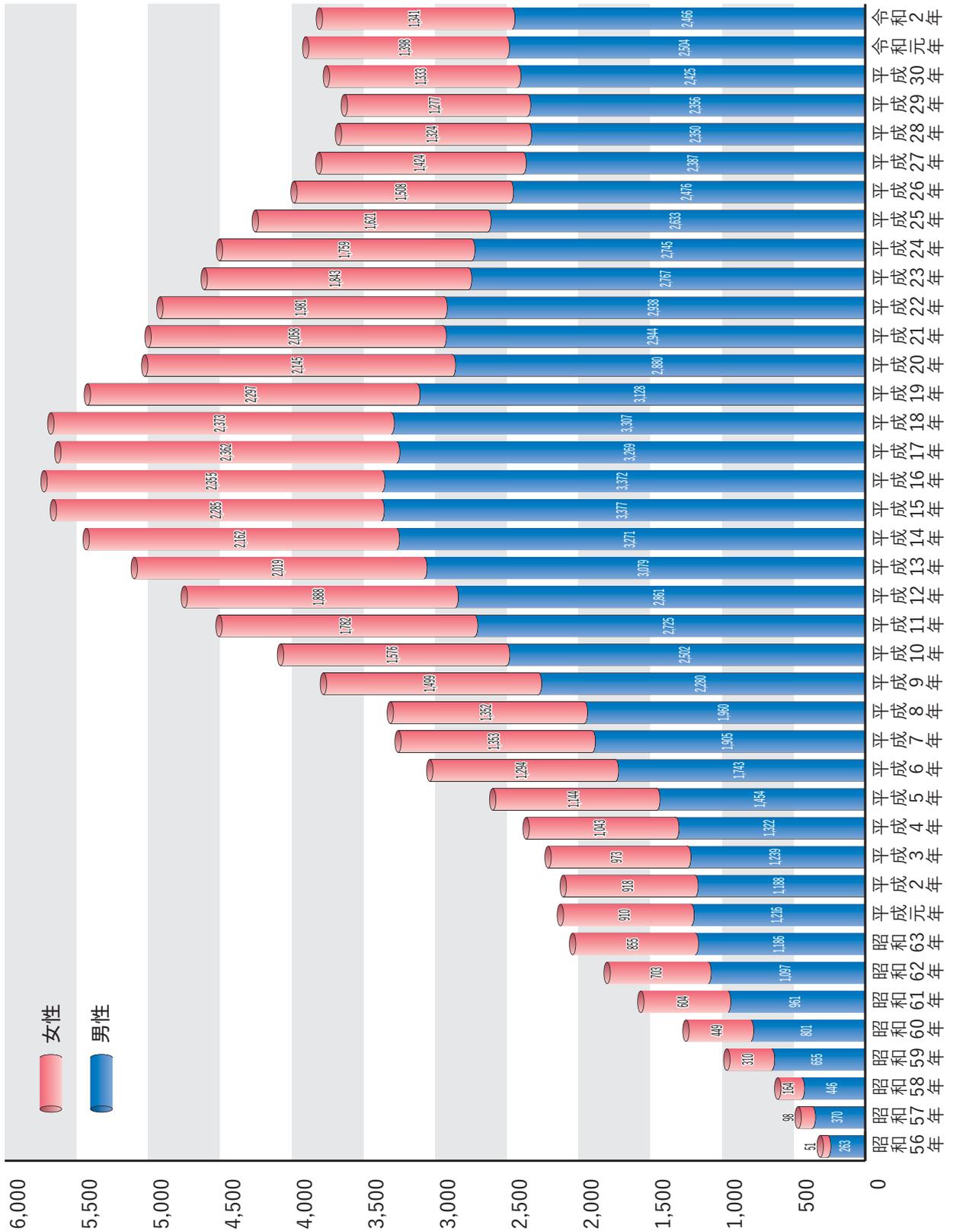
年 度	契約 件数 (件)	契約 金額 (万円)	契約金額 内 訳 (万円)		配分金額 (万円)	就 業 延人員 (人日)	就 業 実人員 (人)	登録会員 (人)	就 業 率 (%)	就業実人員 当たり 配分金 (万円/年)	就業実人員 当たり 就業延日数 (日/年)
			請負	派遣							
昭和56年	373	3,069	3,069		2,172	6,695		314			
昭和57年	942	9,028	9,028		6,415	21,098		468			
昭和58年	1,900	14,813	14,813		11,712	36,882		610			
昭和59年	3,806	26,473	26,473		20,897	63,848	678	965	70	30.8	94.2
昭和60年	6,260	40,194	40,194		31,430	94,128	912	1,250	73	34.5	103.2
昭和61年	7,831	53,434	53,434		42,418	126,318	1,124	1,565	72	37.7	112.4
昭和62年	9,641	63,719	63,719		51,545	152,699	1,236	1,800	69	41.7	123.5
昭和63年	11,347	74,436	74,436		58,630	174,664	1,419	2,041	70	41.3	123.1
平成元年	13,047	87,320	87,320		67,107	196,612	1,473	2,126	69	45.6	133.5
平成 2 年	13,501	95,950	95,950		72,524	207,600	1,512	2,106	72	48.0	137.3
平成 3 年	14,396	99,072	99,072		78,622	213,949	1,546	2,212	70	50.9	138.4
平成 4 年	14,560	112,171	112,171		88,770	229,109	1,642	2,365	69	54.1	139.5
平成 5 年	15,118	117,057	117,057		92,219	239,123	1,773	2,598	68	52.0	134.9
平成 6 年	15,652	125,532	125,532		101,103	252,529	1,917	3,037	63	52.7	131.7
平成 7 年	16,872	131,982	131,982		108,328	273,412	2,031	3,258	62	53.3	134.6
平成 8 年	18,228	144,020	144,020		116,431	300,123	2,194	3,312	66	53.1	136.8
平成 9 年	19,335	154,951	154,951		124,587	322,458	2,343	3,779	62	53.2	137.6
平成10年	20,845	160,018	160,018		127,759	334,009	2,595	4,078	64	49.2	128.7
平成11年	22,392	174,853	174,853		138,322	368,467	2,917	4,507	65	47.4	126.3
平成12年	24,066	181,649	181,649		144,813	389,650	3,061	4,749	64	47.3	127.3
平成13年	24,895	185,905	185,905		150,145	407,968	3,176	5,098	62	47.3	128.5
平成14年	25,726	192,767	192,767		171,263	421,471	3,164	5,433	58	54.1	133.2
平成15年	26,726	194,975	194,975		172,562	427,050	3,304	5,662	58	52.2	129.3
平成16年	27,864	204,297	204,297		180,696	451,032	3,451	5,727	60	52.4	130.7
平成17年	28,361	212,569	212,569		189,586	471,549	3,518	5,631	62	53.9	134.0
平成18年	28,587	208,918	208,918		190,246	475,698	3,590	5,680	63	53.0	132.5
平成19年	28,728	211,001	211,001		191,345	480,434	3,604	5,425	66	53.1	133.3
平成20年	28,329	211,869	211,604	265	189,326	474,111	3,545	5,025	71	53.4	133.7
平成21年	27,212	200,361	196,811	3,550	178,181	453,693	3,532	5,002	71	50.4	128.5
平成22年	27,194	189,740	186,027	3,713	167,405	430,838	3,529	4,919	72	47.4	122.1
平成23年	27,520	188,491	184,913	3,578	166,534	425,615	3,400	4,610	74	49.0	125.2
平成24年	27,690	189,832	186,601	3,231	167,910	423,849	3,393	4,504	75	49.5	124.9
平成25年	25,363	166,815	163,784	3,031	145,365	367,820	3,040	4,254	71	47.8	121.0
平成26年	24,102	154,414	150,686	3,728	134,742	335,536	2,822	3,984	71	47.7	118.9
平成27年	24,342	156,607	151,672	4,935	136,870	341,083	2,809	3,811	74	48.7	121.4
平成28年	24,595	155,475	148,775	6,700	135,427	338,757	2,766	3,674	75	49.0	122.5
平成29年	23,821	155,641	144,681	10,960	134,060	336,429	2,784	3,633	77	48.2	120.8
平成30年	22,433	154,285	136,925	17,360	131,699	325,577	2,780	3,758	74	47.4	117.1
令和元年	21,621	158,402	131,575	26,827	134,495	324,405	2,835	3,902	73	47.4	114.4
令和 2 年	20,144	150,719	126,523	24,196	129,327	308,365	2,803	3,807	74	46.1	110.0

年度別事業実績



男女別登録会員数の推移

(単位：人)



年齢別会員数の推移

(単位：人)

